安全データシート

1　化学品及び会社情報

- 化学品の名称（製品名）

  H　ブロック目地うめパテ

- 会社名　　：ニッペホームプロダクツ株式会社
- 住所　　：東京都品川区南品川４－１－１５
- 連絡先　　：ニッペホームプロダクツ株式会社
  - 電話番号　　：03-3740-1270
  - ファクシミリ番号　：03-3740-1247
- 製品の種類：塗料／接着剤
- 用途　　：塗料・表面処理剤・その他

2　危険有害性の要約

【最重要危険有害性及び影響／特定の危険有害性】

- 人の健康に対する有害な影響
  - 有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
- 環境への影響
  - 水生生物に有害 (急性)

【GHS 分類】

- 絵表示
  - 非該当
- 注意喚起語
  - **非該当**
- 危険有害性情報
  - 水生生物に有害
- 物理化学的危険性
  - 区分外
- 健康に対する有害性
  - 区分外
- 環境に対する有害性
  - 水生環境有害性（急性）：区分 3
- 注意書き
  - 予防策
    - 本来の用途以外に使用しないでください。
    - 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
    - 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
  - 応急措置
    - 口をすすいでください。
    - 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
    - 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。
    - 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。

- ○ 保管
  - ＊ 施錠して保管してください。
  - ＊ 直射日光や水濡れは厳禁です。
  - ＊ 塗料等の缶の積み重ねは３段までとしてください。
  - ＊ 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も５０℃以上（スプレー缶の場合は４０℃以上）の温度にばく露しないでください。
- ○ 廃棄
  - ＊ 内容物／容器を国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

3　組成及び成分情報

【単一化合物・混合物の区分及び毒物・劇物の区分】

- 混合物

【化学物質等の化学特性／危険有害成分】

化学名	CAS No.	濃度% 濃度範囲%	備考					
			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
フタル酸ジブチル	84-74-2	0.1〜1	–	(354)	–	479	–	–
水酸化アンモニウム	1336-21-6	0.1〜1	–	–	–	39	–	–
炭酸カルシウム	471-34-1	55〜60	–	–	–	–	–	–
プロピレングリコール	57-55-6	1〜5	–	–	–	–	–	–
2、2、4-トリメチル-1、3-ペンタンジオールイソブチレート	25265-77-4	1〜5	–	–	–	–	–	–

【注１】 (1) は PRTR 法施行令別表第一の特定第１種指定化学物質に該当する「号の番号」
(2) は PRTR 法施行令別表第一の第１種指定化学物質 (ただし (1) を除く) に該当する「号の番号」
(3) は PRTR 法施行令別表第二の第２種指定化学物質に該当する「号の番号」
(4) は安衛法 57 条の２にかかわる施行令別表第９の通知対象物に該当する「号の番号」
「*」は 2017 年 3 月 1 日改正　追加物質
(5) は企業秘欄
(6) は自治体（都道府県、政令指定都市) 独自設定の PRTR 対象物質 (国が定める PRTR 法対象物質を除く）

【注２】 化合物の異性体において PRTR 法で一部の異性体を号の名称と定めている場合 (A とする) と安衛法では異性体全体の総称で号の名称を定めている場合 (B とする)、B は A を除いた濃度で示す。

【注３】 濃度%、濃度範囲%
(1)PRTR 法該当物質は濃度%で、安衛法 57 条の２該当物質は濃度範囲%で示す。
(2)PRTR 法該当の金属化合物等の場合では、下欄外に含有量%の計算根拠を記載している。
(3) 表の中の数字が括弧で囲まれている場合は、次の場合
(3-1) 対象物質であるが、規定値以下である場合。
(3-2) 下の欄外に計算表がある場合で金属量等が PRTR 報告の対象となる場合。

4　応急措置

- 吸入した場合
  - ○ 蒸気又は揮発成分を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合
  - ○ 付着物を布にて素早く拭き取る。
  - ○ 大量の流水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
  - ○ 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合
  - ○ 直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。
  - ○ 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
  - ○ まぶたの裏まで完全に洗うこと。
    出来るだけ速く医師の診断を受けること
- 飲み込んだ場合
  - ○ 誤って飲み込んだ場合には、安静に上体を起こして大量の水（可能であれば生理食塩水）を飲ませて、直ちに医師の診断を受けること。ただし、気を失っている場合には、無理に飲ませない。

- 嘔吐物は飲み込ませないこと。
- 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

- **応急措置をする者の保護**
  - 適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。
  - 換気を行う。

5　火災時の措置

- **適切な消火剤**
  特に規定された消火剤はない

6　漏出時の措置

【人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置】

- 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

【環境に対する注意事項】
情報を有していない
【封じ込め及び浄化の方法・機材】

- 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- 付着物、廃棄物などは、関係法規にもとずいて処置をすること。

7　取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

- 換気の良い場所で取り扱う。
- 容器はその都度密栓する。

【保管】

- 日光の直射を避ける。
- 通風のよいところに保管する。

8　ばく露防止及び保護措置

- **許容濃度**

化学名	管理濃度 (ppm)	管理濃度 (mg/m^3)	ACGIH(ppm)	ACGIH(mg/m^3)
フタル酸ジブチル	–	–	–	5
水酸化アンモニウム	–	–	25(NH3)	–
炭酸カルシウム	–	–	–	10

【保護具】

- **手の保護具**
  - 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。特にケトン系、エステル系の強溶剤主体の製品を扱う場合、ポリウレタン材質、天然ゴム材質の耐溶剤手袋を着用するか、ＳＤＳ記載成分に耐える適切な手袋をカタログより選び着用する。
- **目の保護具**
  - 取り扱いには保護メガネを着用すること。
- **皮膚及び身体の保護具**
  - 必要に応じて皮膚が直接ばく露されないような保護具を着用する。

9　物理及び化学的性質

【化学物質等の外観】

- 物理的状態　：(　) 気体、(　) 液体、(○) 固体
- 形状　：(　) 粉末状、(　) ペレット、(　) フレーク、(　) フィルム、(○) ペースト
- 色　：無色
- 臭い　：僅かなアクリル臭
- pH 及びその濃度　：8.0
- 沸点　：100 ℃～248 ℃
- 融点、凝固点　：情報を有していない
- 引火点　：なし
- 発火点　：371 ℃
- 蒸気圧　：65Pa
- 蒸気密度　：情報を有していない
- 密度　：情報を有していない
- 溶解度　：情報を有していない
- n-オクタノール／水分配係数：情報を有していない
- 分解温度　：情報を有していない

10　安定性及び反応性

【安定性】

- 通常の温度、圧力の条件下では安定である。

【特定条件下で生じる危険な反応】

- 混触危険物質
  - 酸化剤。
- 危険有害な分解生成物
  - 情報を有していない。

11　有害性情報

【急性毒性】

化学名	LD50（経皮）	LC50（吸入）		LD50（経口）
		蒸気	粉塵、ミスト	
	mg/kg	*ppm*/1*H*	*mg/ℓ*/1*H*	*mg/kg*
フタル酸ジブチル	20001	–	16.68	6300
水酸化アンモニウム	–	–	–	350
炭酸カルシウム	–	–	–	–
プロピレングリコール	22500	–	–	20000
2、2、4-トリメチル-1、3-ペンタンジオールイソブチレート	15200	–	–	3200

【注】　–は情報を有していないことを示す。

12　環境影響情報

- 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
- 生態毒性
  - 2、2、4-トリメチル-1、3-ペンタンジオールイソブチレート:LC50(96hr)　30mg/L

13　廃棄上の注意

【残余廃棄物】

- 廃棄物はリサイクル等によりできるだけ排出量を削減することが望ましいが、止むをえない場合は法にもとづき処理する。

- 化学物質を含む製品、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- 廃棄物等を焼却処理する場合には、大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン特別措置法及び都道府県条例にもとづき処置する。
- 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
- 廃棄物は、都道府県条例にもとづいて処理すること。
- 使用済みの容器は、一定の場所を定めて集積する。

【汚染容器および包装】

- 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- 環境に配慮し、空容器は内容物を完全に除去後、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14　輸送上の注意

【輸送に関する規制及び分類に関する情報】

- 陸上輸送
  - 荷送り人は運送者に運搬注意書（イエローカード 等）を交付する。
  - 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
- 海上輸送
  - 船舶安全法に定めるところに従うこと。
- 航空輸送
  - 航空法に定めるところに従うこと。
- 国連番号：該当なし
- 容器等級：
- 指針番号：該当なし
- 輸送の特定の安全対策及び条件
  - 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
  - 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
- その他　：–

15　適用法令

- 使用において、都道府県条例に該当の場合、条例にもとづき取り扱うこと。
- 労働安全衛生法　：第５７条の２　通知対象物

16　その他の情報

【引用文献】

- 日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」
- オーム社：溶剤ポケットブック危険防災救急便覧
- 国際化学物質安全カード（ＩＣＳＣ）
- 丸善：ザックス有害物質データブック
- 中央労働災害防止協会：化学物質の危険・有害便覧
- ＲＴＥＣＳ：Resistry of Toxic Effects of Chemical Substances
- ＡＣＧＩＨ：Threshold Limit for Chemical Substances and Physical Agents
- ChemADVISOR,INC 製物質データベース

注意

記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取り扱いを対象とするものですので、指定された用途、用法以外には使用しないでください。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報にもとづいて作成しておりますが、今後法律、規則等の改正、新たな知見及び試験等により改正することがあります。
なお、この「安全データシート」は日本国内においてのみ適用するものとします。